

H26 妙高西条農園たより NO.5

平成26年 8月20日

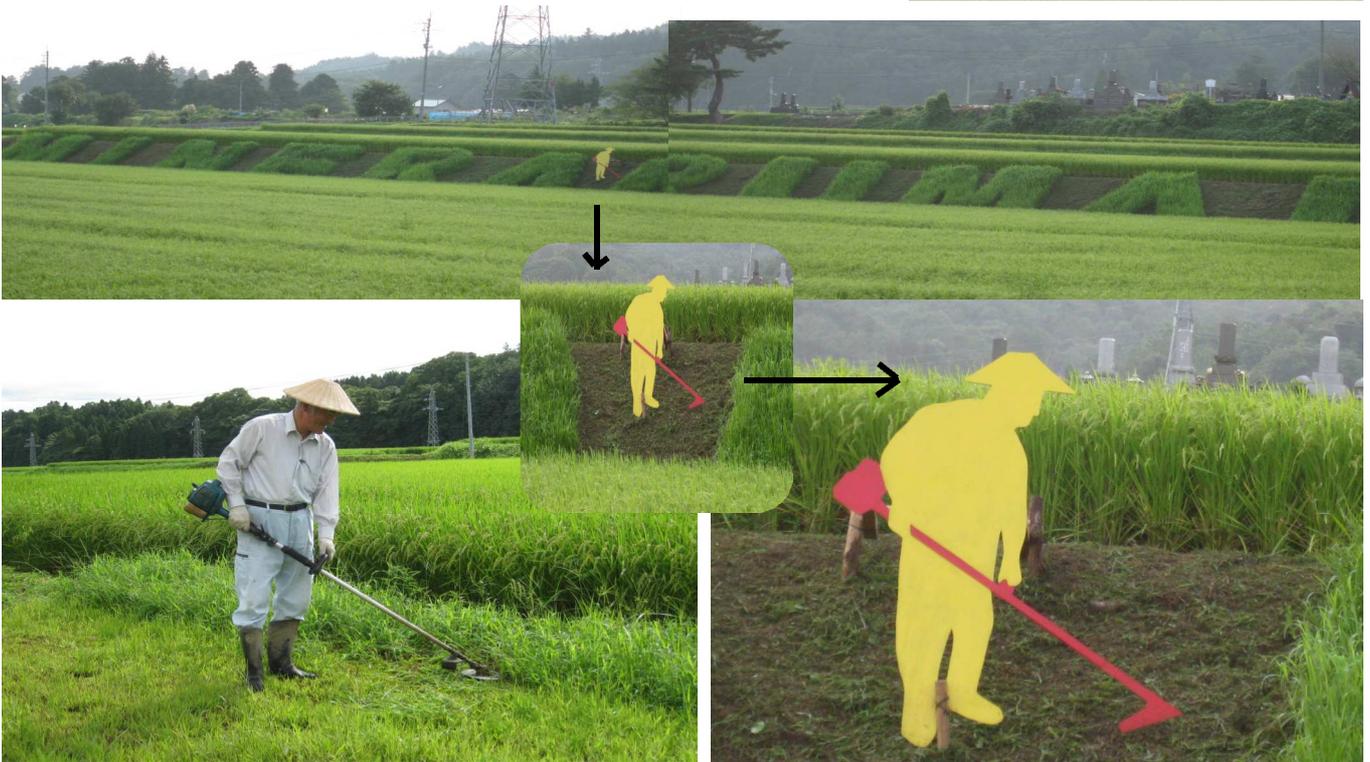
待ちに待った新潟の梅雨明けも7月下旬ようやく明けましたが、からっとした例年の夏とならずに雨の多い蒸し暑い日が続いています。それでも、台風11号関連での四国高知県や三重県、及び長野県南木曾町での土石流災害が発生するような大雨もなく、圃場のコシヒカリも8月上旬に出穂が始まり、今日では稲丈が90cm程に生育し頭を下げ始めました。

しかし、20日からの記録的な集中豪雨による広島市での大災害のような出来事もあることから、今後収穫まで台風や異常気象等による、大雨や大風が吹かないように祈っています。

出穂前に燐酸肥料の穂肥作業



今年の刈り残し文字アートはローマ字と人形としました



恒例の畔草刈り残し文字アートは「MINERARUMAI」のローマ字刈り残しと除草中の肝太をモデルに人形を板にくり抜いた「かかし」の合成アートとしました。

作成に当たって人形を板にくり抜くことと、風により飛ばされないように傾斜のある畔に設置することに苦労しました。・・・出来栄えは如何でしょうか・・・

8月20日、孫の協力による生育状況定点観測



8月3日に確認された出穂も8月10日に全ての穂が出揃いました。この時期大切なのは圃場の水管理と、畔の除草管理です。夏の暑い時期に水を切らすと、稲穂が十分に実らず、収穫量や品質の低下になってしまいます。畔の除草を怠ると、カメムシ等の繁殖に伴う、斑点米の原因になってしまいます。

夏の暑い時期の農作業は、過酷ですが熱中症に注意しながら頑張っています。

あと1ヶ月すると収穫（稲刈り）作業が始まります、**H26年産新米の発送は9月末からの予定です。**楽しみにしててください。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

Eメール： ikedata@kanta.jp

ホームページ URL： <http://www.kanta.jp>